

大旺鋼球製造 株式会社

軸受け用など

鋼球製造のバイオニア

- 海外発注可
- 納期相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



品質を支える研磨工程



鋼球表面の傷や汚れ、光沢不良を検査する外観検査工程

業務内容
あらゆる産業を支える
鋼球専門メーカー

鋼球の専門メーカーとして80年以上の歴史を持つ。ベアリング用鋼球メーカーは国内に数社あるがどこも老舗ばかり。新規参入が難しい事業だ。手がけているのは直径0・6mmから1インチまでの小径が中心で、このサイズでは一定シェアを有する。材質も軸受け鋼、ステンレス、炭素鋼、真ちゅうなどの金属からセラミックまでさまざま。鋼球の精度を表す真球度は0・05μmと高い。生産量はサイズによっても異なるが、月産6億個前後。ピーク時は7億個近く生産している。

鋼球専門メーカーとしてベアリング用以外の鋼球も手がける。全体の60%を占めるベアリング用以外に自動車や自転車部品、バルブ用として使用される化粧品やトイレタリー製品の容器用においてはトップシェアだ。最近では医療や航空機関連からのオフアームも多いという。

強み
生産設備は
大半が自社開発

目視できないほどの小径ものを使うだけに、生産工程は機械化比率が高い。汎用の設備がないことから、自動機類はすべて自社で開発している。治具類ももちろん自社開発。熱処理工程も内製化比率が高い。品質のカギを握る研磨装置ももちろん自社開発で、文字通り「メイドインジャパン」だ。また製品の傷や汚れを検査する光学式の外観検査装置は自慢できる設備で、全数検査により品質を保証している。

BCPとクイックレスポンス
3工場体制でリスク分散

生産増強の狙いから、平成3年11月に合弁工場「北日本大旺株式会社」を北海道芦別市に設立した。さらにリスクヘッジ、BCP（事業継続計画）の観点から平成21年6月、同じ芦別市に大旺北海道工場を完成した。これにより国内3工場体制が構築され、不慮の事故や自然災害などが発生しても生産継続できる体制ができた。芦別市は石炭産業で栄えた町なので地盤が強固。振動を嫌う精密部品産業に適している。中小企業らしい意思決定の速さを生かした格好で、宗田三郎社長は「新規の取り引き先もできた」という。

今後の展望
生産工程を抜本見直し

現在、経営5カ年計画を遂行中。数値目標もさることながら、目的は、「良い製品を安く早くつくる」こと。数人でプロジェクトチームを組み、生産工程を抜本的に見直している。加工時間を短縮すれば必然的にコストダウンになるからだ。とくに品質を決定付ける研磨工程の見直しは必須と見ている。大阪府の経営革新計画にも認定され、本社工場にモデルラインを設置した。それを各工場にも展開していく。究極の目標は「ボタン一つで高品質の鋼球を製造できる無人工場」と宗田社長は語る。



転がり軸受け用鋼球

COMPANY PROFILE

大旺鋼球製造株式会社

大阪26

ISO 9001

当社の歴史

昭和6年の創業以来、鋼球製造の専門メーカーとして、これまで培ってきた技術・ノウハウを生かし、顧客に最適なコストパフォーマンスを提供してきました。製品の価値を下げることなくコストダウンに取り組み、顧客が望む機能に応じた低コストの製品を安定的に供給しています。また将来の成長分野を見据えた新しい商品開発にも取り組んでいます。

「Made in Japan」だからこそ実現できる
技術を駆使し、世の中に貢献して参ります。

代表取締役社長 宗田 三郎さん



■主な事業内容

転がり軸受け用鋼球、
ステンレス鋼球および
炭素鋼球の製造・販売

■主な取引先（納入先）

ベアリング、輸送用機器、
化粧品・トイレタリー、
自転車、電気機器部品、
産業機械メーカーなど

住所 / 〒581-0053
八尾市竹洲東
3-112

TEL / 06-6708-0061
FAX / 06-6708-0085

創業 / 昭和6年5月
設立 / 昭和22年8月
資本金 / 9,000万円
従業員 / 100名

<http://www.daio-steelball.co.jp>